

キリスト者学生会北陸地区協力会

K G K

NEWS LETTER 2019.2

No.78

発行日/2019年2月 発行責任/北陸地区協力会

連絡先/北陸地区KGK：〒930-0851 富山県富山市奥田双葉町1-40 飯沼方

郵便振替：00790-5-45068 KGK 北陸地区公式 HP アドレス：<http://church.ne.jp/kgk-hokuriku/>

◆ 巻頭言 ◆

永井 創世（4月から東北地区KGK主事）

私は09年に北陸の大学を卒業後、KGK主事として関東地区で3年間奉仕し、その後、神学校に進学しました。そして、この春から再びKGKに戻り、今度は東北地区に遣わされることになりました。そんな私が今、強く意識するのは、学生時代にKGKで学んだ「派遣意識」です。

私の「派遣意識」のはじまりは入学式の日にあります。一人暮らしを始め（ついでに髪も明るく染めて）、大学生活を謳歌する気満々でむかえたその日、会場の外でこた返すサークル勧誘の学生の中に、やや地味な「聖書研究会」の一団を発見しました。

KGKに行く気があまりなかった私でしたが、一緒にいた主事（現総主事）の「今晚家に飯食いに来ない？」との言葉に誘われ、ついて行きました。ところが、主事宅には他にもKGK学生が集まっており、食事会后に、そこでその年の夏期学校準備委員会が立ち上げられました。そうとは知らずに集い、半ば強制的に委員会に加えられた私は「騙された…」という気持ちでいっぱいでした。

しかし、会の最後の祈りの時間が私の意識を大きく変えることになりました。その時集っていたのは同じ大学や近隣大学の学生でしたが、彼らは夏期学校に向けて、学内の友人や、まだ出会ってもない学生達の救いを真剣に祈っていました。特に印象的だったのは、彼らが決して、自分とかけ離れた雰囲気の良い信仰者集団などではなく、むしろ、同じように弱さや葛藤を抱きながら、それでも主の願う事として、恐れつつ宣教の使命を受け取ろうとする素朴な信仰者達に見えたことでした。弱々しくこうべを垂れるその小さな祈りの交わりは、私が夢見た華やかな学生生活とは程遠く思いました。しかし、等身大で神様を見上げる彼らの姿に、私もいつの間にか祈りの中で「自分がキリスト者として、この地にいる意味は何だろうか…」「神様は自分にこの地で、どんなご計画を持ち、何を願っているのだろうか…」と考え始めていました。自分のやりたいことをやる！そんな私の学生生活の方向性は、初日から大きく変わろうとしていました。

その後、祈りの中で考え始めたことが、KGKが大切にしている精神のひとつの「派遣意識」であることを知りました。自分が置かれた場所を、神様によって遣わされた地であると受けとめ、そこで神様が意図し願う使命を積極的に受け取っていかこうとする意識。この意識は、学校生活だけではなく、教会生活にも大きな変化をもたらしました。多くの教団・教派がある中、なぜその教会で救われたのか？なぜ宣教が困難と言われる北陸地区の教会で生まれ育ったのか？…これらの問いは、次第に私を「地方宣教」という明確な召しへと導いていきました。そしてその思いは、主事として関東地区に遣わされてからも、また関東の神学校で学ぶようになってからも、ますます強くなりました。活動の規模が大きく、良質な学びの機会に満ちた関東での生活の中で、豊かな経験が与えられれば与えられるほど、「地方宣教」への思いがうずいたからです。そしてこの度、私はKGK主事として東北地区に派遣されることを受け取りました。それは他にもなく、北陸地区で学生時代に受け取った「派遣意識」と、それによって生まれた「地方宣教」の召しに対する、私の応答です。

振り返れば「派遣意識」は学生時代に与えられた最も大きなパラダイムシフトのひとつであったように思います。「やりたいことをやる」人生が、主の使命に生きようとする人生に変えられたからです。この春も、多くの若者が受験を戦い抜き、夢と希望を抱いて大学に入学します。そんな彼らが、その地で「派

遣意識」を受け取り、主の使命に生きるようになることを願い、祈りつつ、KGK は学生に寄り添います。続けてのお祈りとご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

KGKタイムズ



—学内伝道の証し—

FK 2年 T.K.



私が小・中学生のときにしていたお祈りがあります。「クラスの全員を教会に誘うことができますように。クラスの全員が救われますように。」

私は、中学3年生のとき、1人の友だちに神様のことを伝えたいと思いました。その友だちは違うクラスだったので、週に1回すれ違う程度でした。その友だちに伝えるために、毎晩、「教会に誘うことができるよう、神様のことを話すことができるよう、その機会を与えてください。」と就寝前に祈りました。神様はその祈りに応えてくださり、その友だちと頻りに会うようになりました。しかし、私は、神様のことを伝えたときに友だちとの関係が壊れるのを心配して、様々な理由をつけて、その与えられた機会から逃げていました。結局、声をかけられずに卒業式を迎え、多くの与えられた機会から目をそらした、自分の弱さと不信仰に涙を流しました。

中学校卒業後は、神様に導かれたFKに入学しました。FKでは、中学のときのような後悔がなく、神様のよき働き手となれるように祈りました。その中で、教会のメッセージで語られ、聖霊の助けにより祈りの内容が変わりました。「友だちと会ったとき、どんな状況にも、私の心を支えてくださり、神様のことを伝える勇気を与えてください。」と祈るようになりました。それまでの「機会を与えてください。」という祈りから逃げていたことが示されました。神様は、私が固く信頼することを望んでいました。その祈りははじめたときから、心に平安が与えられ、FKにいる同級生や後輩、先輩に、クリスチャンであることを伝え、教会に誘うことができるようになりました。そして、友だちとの関係は悪くなるどころかさらに親交が深くなりました。また、FK入学後すぐにFKの聖書研究会(VIP同好会)に不思議と導かれました。神様の導きにより、FKの7年間で40人の学生がVIP同好会に参加し、神様の御言葉を聞くことができました。また、30人の学生が教会に集えました。

私が信仰をもって祈るものに変えられたとき、神様は私を用いてくださいました。子供の頃の「クラスの全員が救われますように。」という祈りも、神様が応えてくださると信じています。

『信仰は望んでいることからを保証し、見えないものを確信させるのです。』ヘブル11:1

飯沼悞主事の活動報告



お祈りお支えくださりありがとうございます。12月以降の活動を報告させていただきます。

12月には学内の聖書研究会のクリスマス会も開かれ、多くの未信者が聖書の与える救いを御言葉から聞くことができ、学生たちが自分たちの信じている唯一の救いをともに分かち合い、伝えることができ感謝でした。また各県のクリスマス会では卒業生と共にクリスマスをお祝いし、いつも祈ってくださっている方々と共に恵みのひと時を過ごすことができました。

1月の聖書研究会では、クリスマス会から続いて参加するノンクリスチャンたちも起こされました。福音を伝えることで、ノンクリスチャンの中で御言葉が生き、クリスチャンたちも宣教の実を見ることができ、励まされ感謝なひと時でした。

2月は講演会が開かれ、教会の先生・信徒の方々と共に、それぞれのテーマについて学ぶことができ感謝でした。協力会講演会では、卒業生担当主事の小川真主事が調べてくださったアンケートを基に「若者の教会に対するイメージ」を共に考え、教会の内外の若者のリアルな意見を学ぶことができました。

また2.11集会では渡辺敬直先生をお迎えして、「岩手靖国訴訟と今日の課題」と題して、先生のお証も含め、身近に潜む課題をお分かちくださいました。

学生会は14-15日に運営委員会の引継ぎ合宿が行われ、来年度の活動方針や計画などを決め、祈り、期待しつつ備えています。

キャンパスレポート



学生に KGK をご紹介くださり、KGK にも学生をご紹介くださいましたら幸いです。

T 大学：T キャンパスでは、クリスチャン学生が参加できないときも、ノンクリスチャンだけで聖書研究会が続けられています。新年度クリスチャン学生がさらに与えられ、導けるようにお祈りください。

K 大学：K キャンパスでは、引き続き聖書研究会が行われています。卒業生もいるので、来年度は定期的に来てくれるクリスチャン学生が一人となってしまいます。支え手が与えられるようにお祈りください。

T キャンパスでは、お昼休みに聖書研究会がなされ、クリスチャン・ノンクリスチャン共に集められ、食事を頂きながら、御言葉の糧も頂いています。救いが起こされるようにお祈りください。

KB 大学：ノンクリスチャンのメンバーが卒業し、実家の関西に帰るということで、地元の教会につながるように祈っています。また、関西での卒業生の交わりに参加できるようにお祈りください。

KK 大学：リーダーの学生が卒業し、引継ぎがなされています。学内に集うノンクリスチャンメンバーが引き続き聖書に触れ救われるように、また、クリスチャン学生の成長のためにお祈りください。

F 大学：B キャンパスでは、留学生の帰国に伴い人数が減っていますが、留学生によって聖書研究会に参加し始めた学生もいます。続けて共に聖書を読み、福音が語られるようにお祈りください。

M キャンパスは今年度、活動を行っていません。ノンクリスチャン学生が FK 大学の聖研に参加することができるように、また、新年度クリスチャン学生が与えられるようにお祈りください。

FK 大学：様々な学校などから応援に駆けつけてもらい、励まされながら聖研を続けることができます。新年度、さらに学生が与えられ、共に励ましながら学内に生きることができるようにお祈りください。

FK：クリスチャン学生の卒業のため、一旦休部となることを視野に入れていますが、新しい学生が与えられ、今集っているノンクリスチャン学生が来年度も集まることができるようにお祈りください。

その他、KGK に関わっている学生がいる学内や学内活動のない学校（T 大学 G キャンパス・S キャンパス、FI 大学、KG 大学、KI 大学、KS 大学、H 大学、K 大学、HG 大学、J 大学、HS 大学校、TK 大学、TK 短期大学など）で祈り会や聖研が始められるようにお祈りください。またご紹介いただいている学生たちとコンタクトをとり、交わりが与えられ、KGK 活動に関わってもらえるように適切な働きかけができるようにお祈りください。

お知らせ



・一般の集会

各県卒業生会

富山・石川・福井 各県月 1 回 新しく、関西でも北陸地区の集まりが開始されました！

卒業され何年か経過された方、学生時代 KGK に参加されなくても興味がある方など、ご参加頂けましたら幸いです。参加される方は飯沼まで (s.iinuma@kgkjapan.net) ご一報ください

・学生の集会（お祈りに覚えてくだされば感謝です）

春期学校（学生のみ・卒業式(15 日夜)に一般の方は集うことができます）

日時：2019 年 3 月 14（木）-16 日（土） 会場：キゴ山少年自然の家

テーマ：Born again ～あいにかえる～

講師：川上望（トリニティチャーチ富山牧師）

・卒業生の集会

EAGC（東アジア地区卒業生大会）（卒業生）

日時：2019 年 8 月 9（金）-13 日（火）

会場：国立オリンピック記念少年総合センター

テーマ：和解

講師：Chris rice、菅家庄一郎先生

お知り合いの方で大学等に進学なされ、KGK を紹介したい方がおられましたら北陸地区に限らず、お手数ですがご連絡ください。他地区の主事や学生とつなぐことができます。

転勤などで住所を変更された方は、飯沼まで (s.iinuma@kgkjapan.net) ご連絡ください。